



スパイクシューズ 取扱説明書

このたびは、SSKスパイクシューズをお買い上げ
いただきましてありがとうございます。

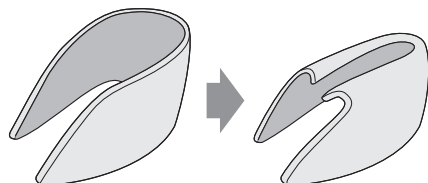
ご使用いただく前に、必ずこの「取扱説明書」を
お読み下さい。

1 サイズは足を入れてご確認ください。

サイズ(足長)は国内規格に基づいていますが、足幅の広さ、つま先部や甲の高さ、関節各部位の出っ張りなど個人差がありスパイクシューズの種類によって適合サイズが異なります。表示サイズだけでお求めにはならず、必ず両足を試し履きして下さい。サイズが合っていないスパイクシューズを使用されますと足を痛めたり、スパイクシューズの損傷の原因になる場合がありますので、ご注意下さい。使用するソックスを着用し足の指が十分に伸ばせる程度の余裕があるものが適当とされています。

2 かかととは絶対にふまないで下さい。

かかと部に内蔵されていますカウンターの変形により、靴ずれなど足の損傷や異物感が発生することがあります。又かかとのホールド性も落ち、スパイクシューズの機能が損なわれます。



3 車内には保管しないで下さい。

炎天下の車内やトランクルームは非常に高温状態になります。短時間でソールがはがれたり、変形・劣化することがあります。多湿の状態での保管も同様の危険性があります。



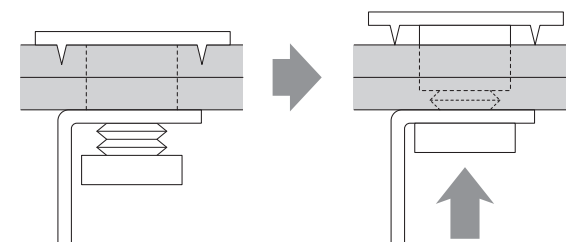
4 ウレタンは経年劣化します。

底材や人工皮革の表面などに使用されますウレタンは、使用回数にかかわらず自然に劣化します。保管中の湿度が高いと、ひび割れなどの劣化現象が表れることがあります。保管するときは

高温、多湿は避け、長期間にわたるときは時々陰干しをして下さい。長期間の保管後使用する時は、試し履きをして劣化していないか確認して下さい。

5 使用前に必ずオスネジを締めて下さい。

ネジ式スパイクは、使用前に付属のレンチで、オスネジがよくまわっているか必ず確認して下さい。緩んだまま使用するとオスネジが脱落することがあり、けがや破損の原因になります。それだけでなく、オスネジが緩んでくると中底側にメスネジを浮上させ危険です。メスネジが浮いた状態で使用すると、ソールとの隙間に砂粒などが入り込みオスネジを締めても元の状態戻らなくなる場合があります。又、この状態でオスネジを過度締めすぎると、メスネジが空回りすることがあります。少しで中底側に違和感を感じたときは使用を中止し販売店にご相談下さい。



6 スパイク金具・樹脂クリーツは早めに交換して下さい。

短くなると滑りやすくなり危険です。同時に、ソールも痛みやくなります。又、ネジ式の場合、オスネジのあたま部分がすり減りレンチで交換ができなくなる場合があります。オスネジのあたまの部分の高さよりスパイク金具・樹脂クリーツが少し残っている状態で交換するようにして下さい。

7 金具・樹脂クリーツの交換方法

ネジ式スパイクの場合、取り付け前にソール側のメスネジ部にや砂等が入っていないことをご確認下さい。交換作業は、最初はソールを使わずに指でオスネジを回してメスネジに挿入していき

オスネジが垂直に入っていることを確認後、ハンドルを使用してきっちり締め込んで下さい。初めにハンドルでオスネジをソール側に押さえるように力を加えると、中底部でメスネジが浮き上がり空回りの原因になる場合があります。

又、オスネジが斜めに入っている状態で無理に締め込むと、メスネジ内部の破損や過度の結合により、中底部でメスネジの空回りが起きやすくなります。オスネジを締め込む際は、複数の箇所それぞれ均等に力が加わっていくよう、少しずつ交代に締めて下さい。

8 グランド以外では使用しないで下さい。

コンクリートやアスファルトなど硬い路面では使用しないで下さい。スパイク金具や樹脂クリーツ、ポイント部の異常な減り方や折れ、欠けの原因となるだけでなく、滑りやすく危険です。

9 滑らないようにご注意下さい。

濡れた路面や、凍った路面では滑って転ぶ危険がありますのでご注意下さい。

10 油にご注意下さい。

油がひいてある場所での使用は、滑ったりスパイクシューズが痛んだりすることがありますので避けて下さい。

11 雨や水に濡れたり汗や湿気で濡れた場合

乾いた布で水分を吸い取り、吸湿性の良い紙を中に詰めて形を整え、風通しの良い場所で陰干しにして下さい。

ドライヤーなどで急激に乾燥させたり、ストーブで乾かしたりすることは軟化や変形、変色の原因になりますので避けて下さい。濡れたスパイク・シューズは、色落ちすることがありますので、衣類や他のシューズなどから離して下さい。

12 はがれ、破損にご注意下さい。

トレーニングシューズのつま先は、ほとんどの場合、底から柔らかいゴムが巻き上がっています。強く地面にこすりつけますと、はがれ、破損の原因となりますのでご注意下さい。

13 スパイクシューズのお手入れ方法

お手入れの際、各種溶剤、ベンジンなどの化学薬品、アルコール類は絶対に使用しないで下さい。変色、劣化など、品質を低下させ破損の原因となります。又、結合力が低下しますので、面ファスナー（マジックテープ）部分をタワシやブラシなどでこすらないで下さい。

〈甲材が天然皮革の場合〉

汚れはブラシなどで落とした後、乾いた布にクリーナーをとり、全体に軽くこすりつけふきとって下さい。

その後、靴クリームなどでみがくと良いでしょう。

〈甲材が人工皮革・合成樹脂の場合〉

天然皮革に比べ、比較のお手入れが簡単なのが人工皮革です。表面が汚れた場合は、ブラシや布などで簡単に汚れを落とした後、湿らせた布やクリーナーでふいて下さい。その後、風通しの良いところで陰干しして下さい。

スパイクシューズは多くの素材を使用しています。天然皮革など水が苦手なものもありますので、スパイクシューズは水洗いしないで下さい。